

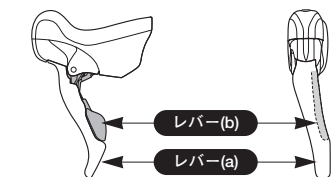
**警告**

- 製品を取付ける際は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

**使用上の注意**

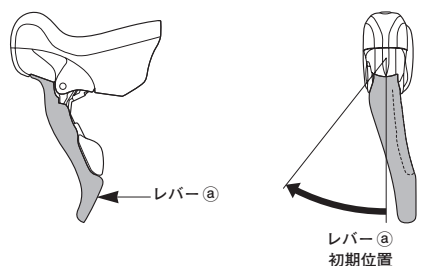
- ST-6703/5703 フロントレバーはトリプル専用ですので、ダブル仕様の製品には使用できません。
- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
- 円滑な操作のため、指定ケーブル及びケーブルガイドをご使用ください。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分が、グリス潤滑された状態で使用してください。
- インナーケーブル内蔵フレームは、ワイヤー効率が悪く SIS が働きにくいいため、ご使用できません。
- 変速ケーブルには専用グリスを使用しています。DURA-ACE グリスや他のグリスを使用すると変速機能が低下します。
- 取付け、メンテナンスに関してはST-6700/5700の取扱い説明書を参照してください。
- FD-6703/5703の取り扱い説明書もあわせてお読みください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱い方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

**変速操作**

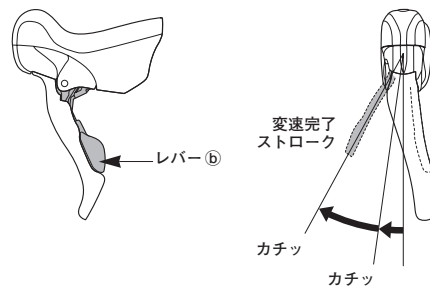


レバー(a)操作時には、レバー(b)も共に動きますが、レバー(b)には押す力を加えないように注意してください。また、レバー(b)操作時には、レバー(a)を押さないように注意してください。両レバーに一度に力がかかると変速しません。

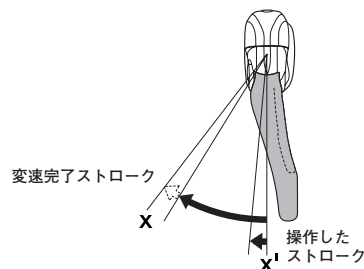
- **レバー(a)**.....小ギアから中間ギア／中間ギアから大ギアへの変速



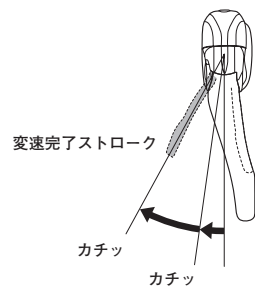
- **レバー(b)**.....大ギアから中間ギアへの変速



レバー(a)の操作が変速完了ストロークに達していなかった場合、不足ストローク分(X)だけ再度レバー(a)を操作(X)して変速を完了します。



- **レバー(b)**.....中間ギアから小ギアへの変速



**ご使用方法** SI-6SE0B-002

**ST-6703 / ST-5703**

フロントデュアルコントロールレバー

機能を十分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

シリーズ	ULTEGRA	105
デュアルコントロールレバー	ST-6703	ST-5703
アウターケーブル	OT-SP41 (SIS-SP41)	
スピード	30 段	
フロントディレイラー	FD-6703	FD-5703
フロントチェーンホイール	FC-6703	FC-5703
リアディレイラー (GSタイプ)	RD-6700	RD-5700
フリーハブ	FH-6700	FH-5700
カセットプロケット	CS-6700	CS-5700
チェーン	CN-7801 / CN-6600 / CN-5600	
ケーブルガイド	SM-SP17	
ケーブルアジャスター	SM-CA70 / SM-CA50	

\* 取扱い説明書は下記にてご覧いただけます。  
<http://techdocs.shimano.com>

製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

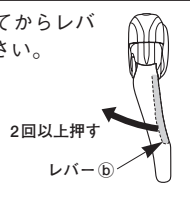


お客様相談窓口  
 ☎ 0570-031961  
 Fax. 072-243-7847

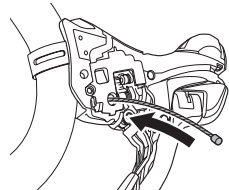
株式会社 **シマノ**  
 堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577

**シフティングケーブルの取付け**

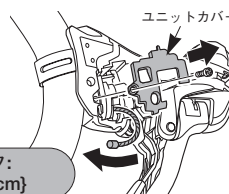
レバー(b)を2回以上押してからレバー位置をローにしてください。



1. 図のように側面から真横にシフティングケーブルを通します。

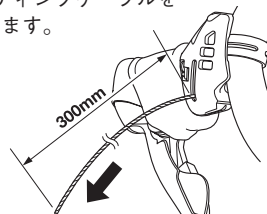


インナーケーブル交換時の取り外しの際、図のようにユニットカバーを外すと取り出しやすくなります。

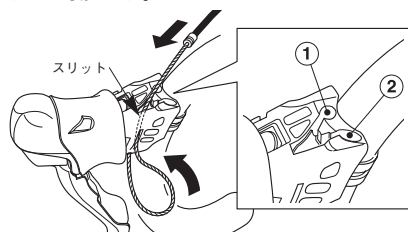


締め付けトルク:  
 0.2 N・m {2 kgf・cm}

2. 真横方向にシフティングケーブルを300mm程度出します。



3. 図のようにスリットからインナーケーブルを上方向に通します。アウターケーブルは①内側 ②外側のケーブルガイドで2方向での取り回しが可能です。



**ご注意**  
 インナーケーブルは折り曲げて癖をつけないように作業してください。インナータイコが巻き取り体の奥まで入るようにしてください。

**トリム操作 (音鳴り解消操作)**

変速操作後チェーンの位置によってはフロントディレイラーの外プレートあるいは内プレートとチェーンが接触して音鳴りが発生する場合があります。このような症状が出た場合にレバー(a)あるいはレバー(b)をわずかに操作してフロントディレイラーを少し移動させて接触を解消する操作をトリム操作と呼びます。チェーンが、大、中間、小いずれのギアにある時でもトリム操作は行えます。チェーンが下の表の位置にあって音鳴りが発生した場合はトリム操作を行って音鳴りを解消します。

チェーンの位置	症状	トリム操作	
		レバー操作	フロントディレイラーの動き
大ギア トップ側ギア 中間ギア トップ側ギア 小ギア トップ側ギア	外プレートとチェーンが接触 外プレート チェーン	レバー(a) カチッ (あたりがある)	トリム操作前 → トリム操作 → トリム操作後 フロントディレイラーの動き
大ギア ロー側ギア 中間ギア ロー側ギア 小ギア ロー側ギア	内プレートとチェーンが接触 内プレート チェーン	レバー(b) カチッ (あたりがある)	トリム操作前 → トリム操作 → トリム操作後 フロントディレイラーの動き